

住政二郎准教授（関西学院大学・理工学部）講演会

「An Ecological Perspective in CALL」

【講演概要】

CALLとは、Computer-Assisted Language Learningの略で、広義には外国語教育におけるテクノロジー利用を専門とする学問領域を指します。最近では、スマートフォンやタブレット、そして各種のSNSなど、私たちの生活は多くのテクノロジーに囲まれています。CALLは、こうしたテクノロジーを外国語学習または教育のために、どのように効果的に活用することができるのかを考えます。

本講演では、CALL研究の歴史の変遷を踏まえ（from instrumental perspective to ecological perspective）、「ひと・もの・こと」をキーワードに講演者の取り組む研究（Design-based research & Computerized Dynamic Assessment）についてお話できればと思っています。

【開催日時・会場】

2018年2月17日（土）

15:40~17:40

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G号館 326号室

【住政二郎 准教授（関西学院大学・理工学部）

プロフィール】



専門は、外国語教育学、教育工学。博士（外国語教育学）。人はどのようにして第二言語を学ぶのか、そして、そのプロセ

スに道具はどのように関係しているのか、という問いに関心を持っている。この広義の関心を教育機関のコンテクストに落とし込み、テクノロジーは外国語教育・学習をどのように支援することができるのか研究をしている。最近では、項目反応理論を利用した適合学習の外国語教育・学習への応用に取り組んでいる。

HP : <http://lang-tech.net/>